

芭蕉研究書目録の研究(I)

佐藤 貢

A Catalogue of the Books of Study on Basho

by

Mitugi SATO

緒 言

私が芭蕉に関する書物に興味をもちはじめたのは三重俳句(22号)に「奥の細道に就ての一管見」を寄稿した昭和29年10月からである。

「奥の細道」の研究に足を踏みいれてみると、先づ第一に、森修(おくのほそ道研究文献目録, 昭和22. 11)を参考資料として研究を進めて行かなければならぬのであった。

そこで「奥の細道」に関係ある註釈書類, 研究論文類, 関係書類について, (i)全般の註釈書類, (ii)部分的註釈関係書類, (iii)全般的に関係ある書類, (iv)全般的に関係ある研究論文類, (v)地域別に関係ある書類及び研究論文類に分けてその書物を研究資料としてとりあげて研究していかなければならなくなった。

三重県では始めて昭和30年10月に第一回芭蕉翁追慕俳句大会が三重県立図書館講堂で開催された。その折私は「芭蕉雑観」, 出口対石氏は「芭蕉翁の古跡を訪れて」と題して講演した。

何故私が雑観と題目をしたかと云うと芭蕉に関する多くの研究史書書誌目録類が目についたので正岡子規の如く独自の芭蕉の見方をすることは私には出来なかったのである。

其後、私は伊勢毎日新聞に「出口対石の芭蕉碑研究」, 「菊山当年男の芭蕉研究」, 「小中学生用の芭蕉読み物」, 「三重県の芭蕉句碑」等々を九回ばかり連載し自分なりに意見を述べてみることにした。

そしていつの間にか芭蕉研究に心が引かれて、昭和38年には、日本図書館学会(会場、国学院大学)では「芭蕉研究書目の作成に就て」、昭和38年には日本読書学会(会場、東京都新宿伊勢丹ホール)では「芭蕉名句の選定に就て」、昭和38年10月には日本図書館学会(会場、天理大学)では「芭蕉俳句の索引の作成に就て」の研究発表を学会で述べて会員の反応を聞いてみたくなったのである。

私のこの三つの研究物、芭蕉研究書目の作成、芭蕉名句の選定、芭蕉俳句の索引のガリ版刷資料は現在の日本では国会図書館、米国ではコロンビア大学図書館で保管されているだけである。

其後私の研究は、芭蕉の句としては959句は確実に芭蕉の句と確認し、私はこれらの句解の原稿は書きあげることが出来たのである。現在松阪女子短大で芭蕉の俳句の講義をしているのは、これらに基づいて行っているのである。

芭蕉研究の困難な点は稀観書が多く、入手しにくいものが多く、結局私は先ず芭蕉の研究書目録の作成に主力を注ぐこととなってしまったのであった。

岩波書店より刊行になった「国書総目録全八巻」は昭和38年11月から昭和47年2月25日で刊了になったし、日本書籍出版会から昭和32年より毎年一冊「文学芸術語学書編」という出版目録が昭和48年で16冊揃ったので、私は出来るだけ最近に出版になったものも加えて、芭蕉研究目録の作成を書きあげることにしたのである。

猶この原稿を書きあげた後になって、次の書物が刊行になったので、結局昭和48年10月までのものまでをとりあげることにしたのである。

芭蕉の文学(2) (教育出版センター, 48. 8)

芭蕉七部集評釈 (集英社, 刊行無記入本)

芭蕉と旅 (上) (社会思想社, 48. 8)

芭蕉と旅 (下) (社会思想社, 48. 9)

東海の芭蕉 (さるみの会, 48. 10)

芭蕉の文学 (桜楓社, 48. 10)

以上の六冊を見ると「芭蕉の文学(2)」が昭和48年8月に刊行になり、「芭蕉の文学」が10月に刊行になったので、一ヶ月に二冊刊行されていることになる。毎月関心をもたざるを得ない芭蕉の出版物であることがわかる。

これらを私は、1総記 2研究史書誌目録類 3伝記 4全集 5発句 6連句 7七部集 8句合せ句評 9俳論 10俳文日記 11書簡 12紀行文 13遺墨遺跡 に分類した。

1 総 記

1. 元禄の蕉風 (佐々醒雪, 俳諧叢書第一冊, 俳諧註釈集上巻, 大正元, 所載)
2. 此一筋 (大正文庫第2編, 沼波武夫著, 大正2, 丙午出版社)
3. 印象詩人芭蕉 (エリセーフ筆, 俳味, 大正2, 1月号)
4. 芭蕉を中心として (石楠パンフレット第2輯, 白田亜浪著, 大正12, 石楠社)
5. 詩に瘦せた芭蕉 (上野松峯著, 大正13, 小西書店, 再版昭和8, 春秋社, 春秋文庫)
6. 俳句話話古人を説く (荻原井泉水著, 大正13, 聚英閣)
7. 一茶と良寛と芭蕉 (相馬御風著, 大正14, 春秋社)
8. 芭蕉と一茶 (荻原井泉水著, 大正14, 春秋社)
9. 芭蕉俳諧の根本問題 (太田水穂著, 大正15, 岩波書店)
10. 芭蕉裸記 (室生犀星著, 昭和3, 武蔵野書院)
11. 煩悩人芭蕉 (西谷勢之介著, 昭和5, 万里閣書店)
12. 芭蕉に参ずる心 (二瓶一次, 昭和6, 厚生閣書店)
13. 芭蕉入門 (荻原井泉水著, 昭和6, 春陽堂)
14. 芭蕉と伝統和歌 (岩波講座日本文学七回配本, 太田水穂著, 昭和6, 岩波書店)
15. 俳文学の考案 (志田義秀, 昭和7, 明治書院)
16. 芭蕉の研究 (小宮豊隆著, 昭和8, 岩波書店)
17. 芭蕉夜話 (加藤紫舟著, 昭和8, 三鈴社)
18. 俳諧史の研究 (額原退蔵著, 昭和8, 星野書店)
19. 放送芭蕉を語る (荻原井泉水著, 昭和9, 実業之日本社)
20. 芭蕉・蕪村・子規 (荻原井泉水著, 昭和9, 千倉書房)
21. 芭蕉研究, 蕪村研究 (新潮文庫, 太田水穂, 河東碧梧桐著, 昭和11, 新潮社)

22. 俳諧史論考（額原退蔵，昭和11，星野書店）
23. 芭蕉の芸術に現れたる虚無的一面について（中村武三郎著，昭和12，私家版）
24. 俳文学研究（各務虎雄著，昭和12，文学社）
25. 俳文学考説（石田元季著，昭和13，至文堂）
26. 自句に表われた芭蕉人間学（加藤細舟著，昭和15，出版社峯文荘）
27. 奥の細道，芭蕉，蕪村（志田義秀著，昭和16，東京修文館）
28. 文学の系譜（暉峻康隆著，昭和16，古今書院）
29. 風雅の誠（各務虎雄著，昭和16，畝傍書房）
30. 芭蕉・去来（創元選書，額原退蔵著，昭和16，創元社）
31. 芭蕉道を語る（宇宙零雨著，昭和16，富士書店）
32. 芭蕉の心（荻原井泉水著，昭和16，育英書院）
33. 芭蕉の精神（荻原蘿月著，昭和17，弘学社）
34. 風雅方寸（国崎望久太郎著，昭和17，立命館出版部）
35. 一茶と芭蕉（宮城謙一著，昭和18，芳文堂）
36. 馬琴・北斎・芭蕉（宇野浩二著，昭和18，小学館）
37. 芭蕉随想あしたに夕べに（荻原井泉水著，昭和18，偕成社）
38. 芭蕉（日本思想家選集，保田与重郎著，昭和18，新潮社）
39. 旅行く芭蕉（岡村健三著，昭和18，天理時報社）
40. 俳文学論考（石田元季著，昭和19，養徳社）
41. 芭蕉俳諧（上甲平谷著，昭和20，富山房）
42. 芭蕉随想（荻原井泉水著，昭和21，卮書林）
43. 芭蕉物語（四方山径著，昭和21，江戸書院）
44. 芭蕉展望（志田義秀著，昭和21，日本評論社）
45. 芭蕉と西鶴（岡崎義恵著，昭和21，支倉書林）
46. 蕉門の人々（額原退蔵著，昭和21，大八洲出版株式会社）
47. 芭蕉の門人（上）（市橋鐸著，昭和22，大八洲出版株式会社）
48. 芭蕉・世阿弥・秘伝・勘（小宮豊隆著，昭和22）
49. 芭蕉諸文（山口誓子著，昭和22，富士書店）
50. 芭蕉と初心（山崎喜好著，昭和22，靖文社）
51. 芭蕉礼讃（野口米次郎著，昭和22，富士書店）
52. 芭蕉前後（志田義秀著，昭和22，日本評論社）
53. 現代俳句のために（山崎喜好著，昭和22，大八洲出版KK）
54. 芭蕉随想俳諧の乞食人（四方山径著，昭和22，文潮社）
55. 芭蕉の門人（下）（山崎喜好，大河寥々，菊山当年男，殿田良作著，昭和23，大八洲出版株式会社）
56. 芭蕉と門人（山崎喜好著，昭和23，弘文社）
57. 芭蕉随筆春は曙（荻原井泉水著，昭和23，臼井書房）
58. 万葉と芭蕉（久松潜一著，昭和23，大八洲出版KK）
59. 芭蕉（山崎喜好著，昭和23，弘文社）
60. 続芭蕉物語（四方山径著，昭和24，江戸書院）

61. 芭蕉論考（荻野清著，昭和24，養徳社）
62. 芭蕉（高浜虚子著，昭和26，中央公論社）
63. 芭蕉の俳（平泉澄著，昭和27，日本書院）
64. 芭蕉をめぐる人々（井本農一編，昭和28，紫乃故郷舎）
65. 芭蕉（朝日古典講座，朝日新聞社出版局古典編集室編，昭和28，朝日新聞社）
66. 俳文芸の論（井本農一著，昭和28，明治書院）
67. 日本近世文学展望と考察（重友毅著，昭和29，みすず書房）
68. 芭蕉講座第三卷伝記篇（小宮豊隆他著，昭和30，創元社）
69. 俳句批判—史論的叙述による—（栗山理一著，昭和30，至文堂）
70. 随筆芭蕉第一卷旅人芭蕉（荻原井泉水著，昭和30，春秋社）
71. 随筆芭蕉第二卷続旅人芭蕉（荻原井泉水著，春秋社）
72. 随筆芭蕉第三卷芭蕉を尋ねて（荻原井泉水著，昭和30，春秋社）
73. 随筆芭蕉第四卷芭蕉を尋ねて（荻原井泉水著，昭和30，春秋社）
74. 随筆芭蕉第五卷芭蕉風景（荻原井泉水著，昭和30，春秋社）
75. 随筆芭蕉第六卷芭蕉春秋（荻原井泉水著，昭和31，春秋社）
76. 随筆芭蕉第七卷奥の細道の道（荻原井泉水著，昭和30，春秋社）
77. 随筆芭蕉第八卷奥の細道の心（荻原井泉水著，昭和31，春秋社）
78. 芭蕉入門ピポ—新書（飯野哲二著，昭和31，国文社）
79. 芭蕉講座第四卷研究篇（阿部喜三男他著，昭和31，創元社）
80. 芭蕉と現代文化講座シリーズ(8)（中島斌雄著，昭和32，大東忽記念文庫）
81. 江戸文芸研究（額原退蔵著，昭和33，角川書店）
82. 芭蕉研究（杉浦正一郎著，昭和33，岩波書店）
83. 芭蕉日本古典鑑賞講座（井本農一編，昭和33，角川書店）
84. 蕉門十哲岩波講座日本文学十四回配本（志田義秀著，昭和7，岩波書店）
85. 俳諧随筆蕉門の人々（柴田宵曲著，昭和15，三省堂）
86. 芭蕉の零（橋本隆介著，昭和31，雲夢園蔵梓）
87. 日本近世文学の展望（小田切秀雄著，昭和32，お茶の水書房）
88. 芭蕉とその門流—蕉風俳句の生成と崩壊—（尾形勳著，昭和34，岩波書店）
89. 芭蕉の芸術（岡崎義恵著，昭和34，宝文館）
90. 俳諧講座(1)俳諧史（尾形勳他，昭和34，明治書院）
91. 芭蕉（井本・栗山・中村共編，昭和34，三省堂「国語国文学研究史大成」）
92. 俳諧人名辞典（高木蒼梧編，昭和35，明治書院）
93. 無用者の系譜（唐木順三著，昭和35，筑摩書房）
94. 前近代の可能性—近世文学試論—（広末保著，昭和35，未来社）
95. 中世文学の世界（上田幹一編，西尾実先生古稀記念論文集，岩波書店）
96. 芭蕉と中国文学（仁枝忠著，昭和36，解釈学会員研究シリーズ）
97. 俳諧語談（山田孝雄著，昭和37，角川書店）
98. 説話と俳諧（安藤直太郎著，昭和37，安藤先生退職記念著作刊行会）
99. 近世俳人（松尾靖秋著，昭和37，桜楓社）
100. 近世の文学—芭蕉・西鶴・秋成—（松尾靖秋著，昭和38，文化書房）

101. 俳諧史（栗山理一著，昭和38，塙書房）
102. 芭蕉新論（今井文男著，昭和39，龍二山房）
103. 芭蕉・蕪村の比較研究（都川一止著，昭和39，草茎社）
104. 中世の文学（唐木順三著，昭和40，筑摩書房）
105. 中興期俳諧の研究（山下一海著，昭和40，桜楓社）
106. 芭蕉—その詞と心の文学—（安藤次男著，昭和40，筑摩書房新書）
107. 近代芸術観の成立（高橋義孝著，昭和40，新潮社）
108. 連歌俳諧とところどころ（今井文男著，昭和41，龍二山房）
109. 元禄文芸復興（暉峻康隆・郡司正勝著，昭和41，至文堂）
110. 松尾芭蕉（宮本・今共著，昭和42，桜楓社）
111. 俳諧の研究—芭蕉を中心に—（横沢三郎著，昭和42，角川書店）
112. 俳諧と民俗学（清崎敏郎著，昭和42，岩崎美術社）
113. 日本文学の歴史7（人間開眼）（井本・西山編，昭和42，角川書店）
114. 初期俳諧の展開（乾裕幸著，昭和43，桜楓社）
115. 芭蕉の芸術—その展開と背景（広田二郎著，昭和43，有精堂出版社）
116. 隠者の文学—苦悶する美（石田吉貞著，昭和43，塙書房）
117. 日本文学研究資料叢書芭蕉（尾形勳他，昭和44，有精堂）
118. 俳諧史諸論（市橋鐸著，昭和45，市橋先生喜寿記念論文集刊行会）
119. 近世文学論叢（早稲田大学俳諧研究会編，昭和45，桜楓社）
120. 芸術としての俳諧（岡崎義恵著，昭和45，宝文館）
121. 芭蕉の研究（重友毅著作集，重友毅著，昭和45，文理書院）
122. 芭蕉の方法（森田蘭著，昭和45，教育出版センター）
123. 松尾芭蕉（日本詩人選）（尾形勳著，昭和46，筑摩書房）
124. 俳句大観（麻生磯次他，昭和46，明治書院）
125. 俳文学叢説（荻野清著，昭和46，赤尾照文堂）
126. 元禄俳諧の位相（山本唯一著，昭和46，法蔵館）
127. 芭蕉の俳諧美論（栗山理一著，昭和46，塙書房）
128. 松尾芭蕉論—晩年の世界—（福田真久著，昭和46，教育出版センター）
129. 松尾芭蕉集（日本古典文学全集，井本，堀，村松訳注，昭和47，小学館）
130. 芭蕉の眼（今井文男著，昭和47，古文書院）
131. 芭蕉の芸術（小林祐作著，昭和48，桜楓社）
132. 芭蕉の文学（宮西一積著，昭和48，桜椿社）

2 研究史書誌目録類

1. 評伝俳諧二百年史（斉藤溪舟著，明治44，隆文館）
2. 三句索引俳句大観（佐々政一著，大正5，明治書院）
3. 芭蕉研究史序説—安永天明期まで（宮本三郎「歴史日本」昭和18，10月号所載）
4. 近世俳句大索引（安藤英方編，明治書院，昭和34）
5. 評解名句辞典（麻生磯次，小高敏郎著，寿北出版，昭和30）
6. 俳諧大辞典（小宮豊隆，麻生磯次監修，明治書院，昭和32）

7. 芭蕉辞典（飯野哲二著，東京堂，昭和34）
8. 芭蕉事典（桜木俊晃著，青蛙房，昭和38）
9. 芭蕉研究史（全二回）（杉浦正一郎「文学」昭和27，2月号，9月号）
10. 古典芭蕉史概説（阿部喜三男「国語と国文学」昭和27，4月号所載）
11. 芭蕉研究史（明治以前）（阿部喜三男（明治以後）神田秀夫）創元社版）
12. 芭蕉影響史（明治以前（宮本三郎），（明治以後）（神田秀夫）創元社版「芭蕉講座第四卷研究篇，昭和31所収）
13. 明治大正昭和年代芭蕉関係俳書解題（二回）（高木蒼梧「古典研究」昭和12年8月号，昭和13年4月号所載）
14. 参考書目（額原退蔵，日本評論社日本古典読本，「芭蕉」昭和14年所収）
15. 芭蕉の研究参考書目解題（萩原蘿月，弘学社版，「芭蕉の精神」昭和17年所収）
16. 芭蕉研究書目（額原退蔵，新日本図書株式会社版「芭蕉講話補訂版」昭和21年所収）
17. 芭蕉研究書目（杉浦正一郎，三省堂版，「芭蕉講座」第九卷俳文篇昭和26年所収）
18. 芭蕉究研の必読書（尾形勳，「俳句」昭和28年5月号所載）
19. 明治以降芭蕉研究主要文献（山崎喜好，朝日新聞社版朝日古典講座「芭蕉」昭和28年所収）
20. 芭蕉の研究書目一活字本を主として一（尾形勳，「国文学解釈と鑑賞」昭和28年10月号所載）
21. 芭蕉研究書目（額原退蔵尾形勳補，角川文庫「芭蕉読本」昭和30年所収）
22. 芭蕉研究文献総覧（久富哲雄「国文学解釈と教材の研究」昭和31年4月号所載）
23. 芭蕉研究参考書目（杉浦正一郎，河出書房版，現代語訳日本古典文学全集「芭蕉集」昭和31年所収）
24. 芭蕉（井本農一，栗山理一，中村俊正編著，三省堂，昭和34）
25. 綿屋文庫連歌俳諧書目録（昭和29，天理図書館叢書第17集，天理大学図書館刊）
26. 三重俳諧年表（桜井祐吉編，比左古文庫，昭和30）
27. 芭蕉批評史における子規の地位（宮本三郎著，昭和16国語国文学研究3月号）
28. 芭蕉俳句研究史一目録その評論と解説一（大磯義雄著，昭和34国文学解釈と鑑賞2月号）
29. 芭蕉研究書誌（自昭和34年至昭和39）（久富哲雄編，昭和40，久華山房（謄写刷）
30. 芭蕉研究総覧（今栄蔵他編著，昭和42国文学解釈と鑑賞4月号）
31. 校本芭蕉全集第十卷俳書解題総合索引（島居，久富，今枝注編，昭和44，角川書店）
32. 俳諧名作集評（釈江戸文学叢第七卷）（額原退蔵，昭和45，講談社）
33. 諸説一覽奥の細道（麻生，阿部正美編，昭和45，明治書院）

3 伝 記

1. 枯尾華（2冊，其角編，元禄7年）
2. 芭蕉翁行状記（1冊，路通編，元禄8）
3. 芭蕉翁追悼「こがらし」（1冊，壺中，蘆角編，元禄8年）
4. 笈日記（三冊，支考編，元禄8）
5. 風俗文選（五冊，許六編，宝永3）
6. 歴代滑稽伝（一冊，許六著，正徳5）
7. 芭蕉翁頭陀物語（一冊，涼袋著，寛延4）

8. 本朝文鑑（五冊，支考編，享保3）
9. 綾錦（三冊，沾涼著，享保17）
10. 俳諧家譜（二冊，丈石編，宝暦元年）
11. 冬扇一路（一冊，鳥醉編，宝暦8）
12. 芭蕉翁全伝（写本一冊，竹人著，宝暦12年稿）
13. 芭蕉翁絵詞伝（三冊，蝶夢著，寛政5）
14. 芭蕉翁略伝（一冊，貞松著，寛政10年奥書）
15. 芭蕉翁正伝（一冊，竹二坊編，寛政10）
16. 芭蕉翁伝（写本一冊，寒蓼堂婆心著，享和元年稿）
17. 芭蕉翁反古文（二冊，文暁編，文化8）
18. 俳家奇人談（三冊，玄々一著，文化13）
19. 芭蕉翁全集（写本一冊，去留編，天保4年以前）
20. 北越雪譜（七冊，牧之編，天保7）
21. 芭蕉翁略伝（一冊，湖中編，弘化2）
22. 芭蕉庵春秋（稿本二冊，素蓮著，嘉永6年稿）
23. 俳道系譜（写本一冊，亀卜編，安政2成る）
24. 芭蕉翁桃青伝（稿本一冊，錦江編，安政6年稿）
25. 芭蕉桃青翁御正伝記（稿本四冊，天堂一叟著，年代未詳）
26. 蕉翁年譜（稿本五冊，大蟲著，年代未詳）
27. 芭蕉庵桃青伝（内田魯庵著，昭和17，立命館出版部）
28. 芭蕉翁（雨谷一菜庵著，明治34，鳴臯書院）
29. 松尾芭蕉（国府種徳著，明治34，博文館）
30. 芭蕉庵桃青（山崎藤吉，明治36，私家蔵）
31. 芭蕉論稿（佐藤紅緑著，明治36，金港堂書籍株式会社）
32. 蕉風（沼波瓊音著，明治38，金港堂書籍株式会社）
33. 行脚俳人芭蕉（正岡子規著，明治39，金尾文淵堂）
34. 評伝芭蕉（天生目杜南著，明治42，博文館）
35. 芭蕉に妾ありき（沼波瓊音「俳味」明治45年1月号所載）
36. 俳聖芭蕉（岡本黙骨著，大正3，日月社）
37. 俳人芭蕉（山崎藤吉著，大正5，俳書堂）
38. 寿貞は芭蕉の妾にあらず（藤井乙男「芸文」大正6年1月号所載）
39. 芭蕉翁の一生（小林一郎著，大正10，大同館書店）
40. 新しい研究芭蕉翁の面影（木津碩堂著，大正11，石塚松雲堂）
41. 芭蕉翁伝（黒田源次編，大正11，聚英閣）
42. 松尾芭蕉伝（蓬流園健岳著，大正12）
43. 芭蕉研究（樋口功著，大正12，文献書院）
44. 旅人芭蕉（荻原井泉水著，大正12，春秋社）
45. 続旅人芭蕉（荻原井泉水著，大正14，春秋社）
46. 芭蕉論（野口米次郎著，大正14，第一書房）
47. 芭蕉翁略伝と芭蕉連句評釈（勝峯晋風校訂，大正14，紅玉堂書店）

48. 詩人芭蕉（萩原蘿月著，大正15，紅玉堂書店）
49. 芭蕉の生涯（山田愛剣著，大正15，忠誠堂）
50. 芭蕉庵春秋（萩原蘿月校訂，昭和2，紅玉堂書店）
51. 俳諧の研究「国漢文研究叢書第一輯」（齊藤清衛編，昭和2，星野書店）
52. 芭蕉翁雜考（大河寥々著，昭和2，資文堂）
53. 芭蕉の俳句と其一生（中西悟堂著，昭和3，交蘭社）
54. 芭蕉亡命の一考察（菊山当年男著，昭和6，伊賀上野町教育会）
55. 芭蕉と伊賀（村治丹次郎著，昭和6，伊賀上野町教育会）
56. 芭蕉論（浦野芳雄著，昭和9，大同館書店）
56. 俳人芭蕉伝（加藤紫丹著，昭和9，天来書房）
57. 芭蕉終焉記花屋日記（岩波文庫）（文暁著，小宮豊隆校訂，昭和10，岩波書店）
58. 芭蕉の全貌（萩原蘿月著，昭和10，三省堂）
59. 芭蕉全伝（山崎藤吉著，昭和10，叢文閣）
60. 芭蕉一代物語（物語日本文学）（志田義秀，昭和11，至文堂）
61. 松尾芭蕉（新選妙好人伝第二編）（富士川游著，昭和11，厚德書院）
62. 芭蕉（日本全書）（齊藤清衛著，昭和12，楽浪書院）
63. 問題の点を主としたる芭蕉の伝記の研究（志田義秀著，昭和13，河出書房）
64. 芭蕉翁絵詞伝（富山房百科文庫36）（幸田露伴校訂，昭和13，富山房）
65. 芭蕉（日本古典読本）（額原退蔵著，昭和14，日本評論社）
66. はせを（菊山当年男著，昭和15，宝雲舎）
67. 芭蕉は生てる（川崎克著，昭和17，伊賀文化産業協会）
68. 人間芭蕉記（山岸外史著，昭和17，朱雀書林）
69. 松尾芭蕉一伝統と悲劇一（那須辰造著，昭和17，道統社）
70. 芭蕉（萩原蘿月著，昭和18，青梧堂）
71. 俳人芭蕉の研究（鈴木重雅著，昭和18，柳原書店）
72. 俳聖芭蕉（野田別天桜著，昭和19，理想社）
73. 芭蕉講話（額原退蔵著，昭和19，出来島書店）
74. 俳聖芭蕉（浅野信著，昭和19，潮文閣）
75. 芭蕉雜纂（菊山当年男著，昭和21，甲文社）
76. 芭蕉翁絵詞伝（本田寿次郎校訂，昭和21，商艸社）
77. 芭蕉（栗山理一著，昭和24，成城国文学会）
78. 芭蕉はどこで生れたか（片岡砂丘艸著，昭和24，鈴鹿嶺発行所）
79. 芭蕉伝記の新研究（野村一三著，昭和25，黎明社）
80. 芭蕉（広末保著，昭和27，福村書店）
81. 蕉翁礼讃と誕生地考（松尾早次著，昭和28，柘植史談会）
82. 芭蕉読本（角川文庫）（額原退蔵著，昭和30，角川書店）
83. 芭蕉講座第三巻伝記篇（昭和30，創元社）
84. 芭蕉と寿貞尼（岡村健三著，昭和31，芭蕉俳句会）
85. 芭蕉一その作品と生涯一（麻生磯次著，昭和32，山田書院）
86. 芭蕉翁編年誌（目黒野鳥著，昭和33，青蛙房）

87. 俳句講座(2)俳人評伝上(昭和33, 明治書院)
88. 芭蕉(小島政二郎著, 昭和18, 至文堂)
89. 旅の俳聖芭蕉(山本和夫著, 昭和27, 偕成社)
90. 自然を愛した詩人松尾芭蕉(齊藤正二著, 昭和34, 岩崎書店)
91. 芭蕉伝記考説(麻生磯次監修, 阿部正美著, 昭和36, 明治書院)
92. 芭蕉の亡命説について(岡寿章, 三重大国語国文学会報(4), 昭和37)
93. 松尾芭蕉(阿部喜三男著, 昭和36, 吉川弘文館)
94. 芭蕉研究(菊山当年男著, 昭和37, 角川書店)
95. 芭蕉伝記考(岡村健三著, 昭和38, 青芝発行所関西空穂会)
96. 小説芭蕉日記(荻原井泉水著, 昭和39, 朝日新聞社)
97. 校本芭蕉全集第九卷評伝, 年譜, 芭蕉遺語集(井本, 久富, 荻野, 今, 赤羽共編, 昭和42
角川書店)
98. 世阿弥, 芭蕉, 馬琴(古川久著, 昭和42, 福村出版会社)
99. 芭蕉—その旅と俳諧(広末保著, 昭和42, 日本放送出版協会)
100. 芭蕉—その人と芸術(井本農一著, 昭和43, 講談社(現代新書))
101. 芭蕉の世界(井本農一著, 昭和43, 小峯書店)
102. 芭蕉と蕉門の研究—芭蕉, 洒堂, 野波, 考証と親見—(大内初夫著, 昭和43, 桜楓社)

猶本論文中, 4, 全集としては56冊, 5, 発句としては99冊, 6, 連句としては39冊, 7, 七部集としては96冊, 8, 句合せ句評としては5冊, 9, 俳論としては157冊, 10, 俳文日記としては48冊, 11, 書簡としては20冊, 12, 紀行文としては141冊, 13, 遺墨遺跡としては39冊となった。

私の研究は芭蕉研究書を昭和48年10月迄の刊行されたもの1057冊をとりあげることとなったものであるが, 誌面の関係から全部を載せることが出来ませんでした。